

栄養科学イラストレイテッド

臨床栄養学

基礎編

序

本田佳子, 土江節子, 曾根博仁

カラーアトラス..... 10

第1章 臨床栄養学の基礎

本田佳子 16

- 1 ● 意義と目的 17
 - A 内部環境恒常性の栄養支援 17
 - B 自然治癒の促進 18
 - C 症状の悪化・再発の防止 18
 - D 症状の改善 18
 - E 摂食支援 18
 - F QOL (生活の質, 人生の質) 19

- G ターミナルケア (終末期医療) 19
- 2 ● 疾患と栄養 19
 - A 疾患の成因としての栄養 19
 - B 生活習慣病 19
 - C 疾患の結果 (病態) としての栄養障害 20
- Advanced** リスボン宣言に示された患者の権利 20

第2章 チーム医療, 在宅医療

鞍田三貴 (1~2), 山下扶美 (3A・4D)
井尻吉信・山東勤弥 (3B~D・4A~C) 22

- 1 ● チーム医療, 栄養サポートチーム (NST) 23
 - A 治療における栄養マネジメントの意義 23
 - B さまざまなチーム医療 23
 - C わが国の栄養サポートチーム (NST) ... 24
 - D NST における管理栄養士の役割 24
- 2 ● クリニカルパス 25
 - A クリニカルパスの意義と歴史 25
 - B クリニカルパスの役割 25
- 3 ● 医療保険制度 25
 - A 医療保険制度における入院時食事療養制度・栄養食事指導料 25

- B 生命倫理, 医の倫理, 守秘義務 31
- C 患者・障害者の権利・心理 32
- D インフォームドコンセント 32
- 4 ● 福祉・介護と在宅医療 32
 - A 国際疾病分類 (ICD), 国際障害分類 (ICIDH), 国際生活機能分類 (ICF) ... 32
 - B ノーマリゼーション 34
 - C 在宅医療, 訪問看護 34
 - D 介護保険制度における基本食事サービス 35
- Advanced** 数値だけを見るのではなく, 病態に臨む 37

第3章

栄養ケアマネジメントの概要

水元 芳 (1~4)

佐藤敏子・宮本佳代子 (5~8)

41

1 ● 栄養ケアマネジメントの概要	42	J QOL (生活の質, 人生の質)	52
A 栄養ケアマネジメントの定義	42	K 健康・栄養問題 (課題) の検出と決定	53
B 栄養ケアマネジメントの過程	42	4 ● 栄養補給の概要	54
2 ● 栄養アセスメント	45	5 ● 栄養ケアプログラムのプラン	55
A 健康状態のアセスメント (ヘルス アセスメント, health assessment)	45	A 課題の必要性・優先性	55
B 栄養アセスメントの意義・目的	46	B 課題の実施可能性	55
3 ● 栄養アセスメントの方法	46	C 資源と費用	55
A 静的アセスメントと動的アセスメント	46	6 ● 栄養ケアプログラムの目標設定	55
B 臨床診査 (身体徴候)	46	7 ● 栄養ケアプログラムの実施	56
C 臨床検査	49	A 各種組織・従事者・患者の連携	56
D 身体測定	49	B 実施	57
E 食生活状況の把握	50	8 ● 栄養ケアプログラムの評価	57
F 食知識, 食態度, 食行動, 食スキル	50	A 栄養ケアプログラムに対するアウトカム 評価の必要性	57
G 食環境	52	B アウトカム評価の指標	57
H 生活習慣 (ライフスタイル)	52	C PDCA サイクルに基づく栄養ケア プログラムの評価	58
I 生活環境, 社会・経済・文化的環境, 自然環境	52	Advanced CONUT 栄養評価法	58

第4章

傷病者の栄養アセスメント

河原和枝 (1~5)

土江節子 (6~8)

61

1 ● 意義と目的	62	D 主訴, 現病歴, 既往歴 (現症), 家族歴, 生活歴	68
2 ● 栄養スクリーニング	62	4 ● 臨床検査	69
A 栄養スクリーニングの意義	62	A 栄養状態の評価指標	69
B 栄養スクリーニングの方法	62	B 病態の評価指標	72
3 ● フィジカルアセスメント	64	5 ● 身体計測	74
A 主観的評価	64	A 測定項目	74
B 包括的評価	64	B エネルギー貯蔵状態のアセスメント	76
C 自他覚症状の観察	65		

C 体タンパク質の貯蔵状態のアセスメント	77	F ビタミン必要量	82
6 ● 食生活状況の把握	77	G 無機質（ミネラル）必要量	83
A 調査内容	77	8 ● 栄養アセスメント	83
B 外来患者への調査（入院患者に実施する場合もある）	77	A エネルギーのアセスメント	83
C 入院患者への食事調査	78	B タンパク質のアセスメント	84
D その他の調査方法	79	C 脂質のアセスメント	85
7 ● 栄養必要量の算定（推定）	79	D 炭水化物のアセスメント	85
A エネルギー必要量	79	E 水分のアセスメント	85
B タンパク質必要量	80	F ビタミンのアセスメント	86
C 脂質必要量	81	G 無機質（ミネラル）のアセスメント	86
D 炭水化物必要量	82	H 総合的な栄養のアセスメント（健康・栄養問題の決定）	86
E 水分必要量	82	Advanced 要介護高齢者に対する栄養評価	87

第5章 食事療法，栄養補給の方法

金胎芳子 90

1 ● 食事療法と栄養補給	91	B 適応疾患と絶対的禁忌	99
A 食事療法と栄養補給の歴史	91	C 投与経路	99
B 食事療法と栄養療法の特徴	92	D 経腸栄養剤の種類と成分	100
C 栄養補給の選択	93	E 投与方法	101
2 ● 経口栄養補給	93	F 栄養補給に必要な器具・機械	102
A 治療食と介護食	94	G モニタリングと再評価	102
B 治療食の種類	94	H 経腸栄養の合併症と対応	103
C 治療食の疾患別分類と主成分別分類	94	I 在宅経腸栄養サポート	103
D 常食，軟食，半固形食	95	4 ● 経静脈栄養補給	104
E 特別治療食	97	A 目的	104
F 食品選択と献立作成	98	B 適応疾患と禁忌	104
3 ● 経腸栄養補給	98	C 投与経路	104
A 目的	99	D 経静脈栄養剤の種類と成分	106

E 栄養補給量の算定方法	107	H 経静脈栄養の合併症と対応	108
F 栄養補給に必要な器具・機械	107	I 在宅経静脈栄養サポート	109
G モニタリングと再評価	108	Advanced 疾患別の診療・治療ガイドライン	110

第6章 薬と栄養・食物の相互作用

中島 啓 112

1 ● 薬と栄養・食物の相互作用を学ぶ意義	113	3 ● 医薬品が栄養・食事に及ぼす影響	117
2 ● 栄養・食物が医薬品に及ぼす影響	113	A 味覚, 食欲, 栄養素の消化・吸収・代謝・排泄に及ぼす薬物の作用	117
A 薬物動態学的相互作用	113	B 水・電解質に及ぼす薬物の作用	119
B 薬理学(薬力学)的相互作用	116	Advanced NSAIDsの副作用が主作用!?	121

第7章 栄養ケアの計画と実施, 記録

久保ちづる (1~6) 123
土江節子 (7~8)

1 ● 栄養ケアの目標設定	124	6 ● SOAPに基づく記録	136
2 ● 栄養ケアの計画書の作成	124	A S (subjective data, 主観的情報)...	136
A 栄養量の設定	125	B O (objective data, 客観的情報)...	136
B 栄養補給法の決定	126	C A (assessment, 評価)...	136
3 ● 栄養ケアの実施内容	128	D P (plan, 計画)...	136
A 栄養食事療法, 栄養補給の実際	128	7 ● 傷病者への栄養教育(指導)	137
B 保健機能食品と特別用途食品の活用	131	A 栄養教育(指導)の意義と目的	137
4 ● 栄養ケアの記録	132	B 栄養食事指導の方法	138
5 ● 問題志向型システム(POS)の活用	132	C 栄養食事指導の流れ	139
A 問題(problem)	132	D 栄養食事指導の要点	142
B 志向(oriented)	135	E 栄養食事指導の結果の報告	142
C システム(system)	135	F 医療チームによる指導(カンファレンスへの参加)	144

G 栄養食事指導の媒体	144
H 栄養食事指導システムのアセスメント	145
8 ● 行動科学理論とカウンセリングの応用	145
A 行動科学理論	145

B カウンセリングの応用	147
Advanced 管理栄養士として現場で何を求められているか	150

第8章 栄養ケアの評価

土江節子 153

1 ● 臨床経過のモニタリング, リ・アセスメント	154
A 病態（臨床症状）や栄養状態のモニタリング, アセスメントと栄養ケアプランの修正	154
B 栄養摂取量・食生活状況の把握とアセスメント, 栄養必要量のアセスメント	157
C 栄養補給方法のアセスメントと修正	159
D 栄養ケアの修正	159
2 ● 評価の種類	160
A 過程（経過）評価	160
B 影響評価（短期目標）	160
C 結果評価（中期・長期目標）	160

D 総合評価	160
E 経済評価	160
3 ● 臨床介入の評価	161
A 無作為化比較試験	161
B コホート研究の応用	161
C 介入前後の比較	161
D 症例対照研究の応用（後ろ向き研究）	161
E 事例評価（個別）	161
4 ● 評価結果のフィードバック	162
Advanced 「かかりつけ医」と「病院」の連携（例：糖尿病）	162

付録（臨床で役立つ医学用語一覧）	監修／本田佳子・曾根博仁 164
索引	168

Column Index

診療報酬の改定とは？	27	インフォームドコンセント (informed consent)	124
管理栄養士の仕事場って？	37	体重の増減を考える	125
栄養アセスメントタンパク ～ RTP	46	バクテリアルトランスロケーション (BT)	128
家族歴を読み解くためのジェノグラム	47	食事療法の先駆者 ～高木兼寛 ^{かねひろ}	129
WHO/QOL-26	54	医師からの依頼に対し、管理栄養士による 栄養食事療法計画が異なる例	139
臨床検査の変動要因	69	問題点とその原因をとらえよう	140
定期的なアセスメントによる必要栄養量の調整	81	再指導はどのように行う？	142
間接熱量測定法による呼吸商 ($RQ = VCO_2/VO_2$) のアセスメント	81	糖尿病療養指導士	144
リフィーディング・シンドローム (refeeding syndrome)	83	行動療法とカウンセリングの人間観	145
治療食の変革	96	経腸栄養剤の摂取状況把握の必要性	159
食品、栄養素の“副作用”	121	経口摂取の重要性	160